

歴史ある学校で

校長 高橋 馨

クリスマスの飾りつけに、年の瀬の訪れを感じる季節となりました。この時期、学校では来年度に向けた予算編成の作業が始まります。同時に、時間割や行事等、学習活動の計画・編成も進めています。

さて、来年度の準備を進める中で、外部にて本校の歴史を紹介する機会がありました。その際に『青鳥30年史（昭和54年発行）』を開いたところ、巻頭言の一節が目に留まりました。『青鳥教育の根幹をなす教育のねらいは自立と社会参加である。（中略）時代に応じた特色的な教育活動を展開しながらも、望ましい教育を志向しての改善を積極的に進めてきているが、常にひとりひとりの生徒の可能性を引き出して、自立と社会参加を狙っていく教育は一貫している。』いつの時代も本校は、様々な変化に対応しながら、生徒の学びを支えてきましたが、そして、働き方改革やDXをはじめとする様々な対応が求められる今の青鳥が、歴史に励まされているようにも感じました。

来年度の学習活動については、保護者の皆様にご協力いただいた学校評価の結果も活用します。集計結果の分析にあたっては、学校運営連絡協議会の外部委員からも評価、助言もいただきます。その上で今後の方向性を確認しながら、自立と社会参加に向けた活動がより充実するよう改善を進めてまいります。進歩につきましては、保護者会等でお伝えしてまいります。学校評価へのご協力、ありがとうございました。 ★まだご回答いただいている方は、ぜひご協力ををお願いいたします。

生徒会役員選挙

11月5日に立会演説会と生徒会役員選挙がありました。立会演説会では、立候補者と推薦人の生徒たちがこれからの学校をどうしたいかを熱意をもって話をしてくれました。その後の投票では、生徒たちが受付で投票用紙と引き換えて、記入台では誰に投票しようかと真剣に考えながら記入する様子が見られました。



八丈分教室より

八丈島も少しずつ寒くなり、秋めいてきましたが、まだまだ半そでで過ごせる日も少なくありません。

さて、11月は八丈高校の3年生の皆さんと合同でサンチュや小松菜の定植、里芋の収穫などを行いました。「やさしくね。」や「これお願ひ！」など、お互いに声を掛け合って作業を進めてきました。授業後にはたくさんの採れたて野菜をお持ち帰り。それぞれの家庭で美味しく調理していただいたそうです。

